

# 都市再生整備計画

みよししとおかいち  
三次市十日市地区

ひろしまけん みよしし  
広島県 三次市

令和8年3月

事業名	確認
都市構造再編集中支援事業	■
都市再生整備計画事業(社会資本整備総合交付金)	□
都市再生整備計画事業(防災・安全交付金)	□
まちなかウォークアブル推進事業	□

都市再生整備計画の目標及び計画期間

様式(1)-②

都道府県名	広島県	市町村名	みよし 三次市	地区名	みよしとおかいちちく 三次市十日市地区	面積	110	ha							
計画期間	令和	8	年度	～	令和	12	年度	交付期間	令和	8	年度	～	令和	12	年度

<p><b>目標</b></p> <p>大目標：人と想いがつながり、未来につなぐまち</p> <p>目標1：子育てしやすいまちづくり</p> <p>目標2：安全で安心なまち</p> <p>目標3：憩いを提供する河川空間の創出</p>
<p><b>目標設定の根拠</b></p> <p>都市全体の再編方針(都市機能の拡散防止のための公的不動産の活用の方針を含む、当該都市全体の都市構造の再編を図るための方針)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三次市は広島県北部に位置する市で、中国地方の中心部にあり、山陽側の広島・呉・三原・尾道・福山や山陰側の浜田・江津・大田・出雲・松江・米子などの主要都市へ約50～80kmの位置にある。</li> <li>交通網は、中国縦貫自動車道三次ICを始め、中国横断自動車道尾道松江線、一般国道54号を含む4つの国道、45の県道、そしてJR芸備線やJR福塩線が市内で交差しており、中国地方の主要都市へ放射状に広がる交通網を有している。</li> <li>平成16年度に三次市を含む1市4町3村が合併し、新たな三次市が誕生したが、合併後も人口減少の問題は続いており、持続可能なまちづくりや地域社会の構築が課題である。</li> <li>そのような状況下、三次の活力とにぎわいを創出し、持続可能なまちづくりを推進するため、令和6年に「第3次三次市総合計画(みよし未来共創ビジョン)」を策定し、未来につなぐまちの実現に向けて取り組んでいる。</li> <li>令和6年度には本市の都市構造上の課題を踏まえた「三次市立地適正化計画」を策定し、暮らしを支える都市機能の集積と安心して快適に暮らすことのできる居住地の形成にも合わせて取り組んでいる。</li> <li>これら計画で目指すまちの姿の実現に向け、本市では中心市街地の一定エリアにおいて都市機能誘導区域を設定し、教育・文化・商業などの高度なサービスが受けられる都市機能の集積を進め、拠点の形成を図り公共・公益サービス機能の維持することで、街なかの魅力向上や便利な暮らしを支える。</li> <li>居住誘導区域に隣接し、三次市の誇る三川合流部において、川を活用した「かわまちづくり」も併せて進めており、地域の自然環境を楽しむ機会を提供し住民が日常的に利用できる憩いの場を創出することで、住民の暮らしの満足度向上及び地区内の魅力向上による定住促進を図る。</li> <li>小・中学校では河川学習や部活動を隣接する河川内の十日市親水公園で行っており、小学校・中学校の整備とかわまちづくりの相乗効果をさらに高める。</li> </ul> <p><b>まちづくりの経緯及び現況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>三次市のほぼ中央部に位置する本地区は、河川を中心に平坦地が開け、三次市内でもっとも人口集積が高い地域である。</li> <li>地域の骨格道路は、国道54号、国道183号、国道375号等によって構成されており、山陽・山陰を結ぶ道路・鉄道が放射状に延びる交通の要所でもある。</li> <li>昭和47年7月豪雨で堤防が決壊し被災した後、高い堤防が築かれ市民の安全な暮らしを守ってきたが、川とまちが分断されている。</li> <li>平成22年度に「三川合流部周辺河川環境整備計画」を策定し、川を観光や生業、憩いの場など様々な市民生活のステージとして利用されるよう、河川の安全利用のための護岸整備や市道馬洗川堤防線の歩道整備工事、河川堤防の照明設置事業など川とまちをつなぐ整備を進めている。</li> <li>平成26年度には三次駅周辺整備事業によって三次市交通観光センターを整備し、三次駅周辺の交通結節、観光情報発信の機能が飛躍的に高まり、本市を代表する商業、行政、教育、文化等、市内だけでなく広域からの利用がある施設が立地している。</li> <li>令和6年度には、まちなかの魅力向上や便利な暮らしを支える拠点の形成を図るべく立地適正化計画を策定し、本市の中心部に位置する当該地区においては、集客施設や教育施設等の都市機能を集約する地域として位置づけている。</li> <li>居住誘導区域に隣接するエリアには三本の一級河川が合流する三川合流部が広がっている。</li> <li>令和6年度には、三川合流部が育む歴史・伝統・文化を活かした観光拠点づくりを行うべく、地域の住民や事業者等が参加するワーキングや「三次市かわまちづくり懇話会」で議論し「巴峽三次かわまちづくり計画」を策定した。これにより、令和7年度から令和11年度までの間に国土交通省、三次市、事業者が連携して計画を実施していくこととしている。</li> </ul> <p><b>課題</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>本市における人口集中地区であるが人口密度は低下傾向であり、令和2年度を除き人口集中地区の面積は拡大傾向にあることから、市街地の低密度化が懸念される。</li> <li>地区内の道路が狭いかつ歩道が未整備であり、特に教育文化施設への通学路と十日市親水公園へ向かう歩行者の安全確保が必要である。</li> </ul> <p><b>将来ビジョン(中長期)</b></p> <p>①第3次三次市総合計画 -みよし未来共創ビジョン-(令和6年度～令和15年度)</p> <p>拠点性の維持と良好な住環境づくり</p> <p>(めざす姿)三次ならではの自然環境と調和した景観形成や都市機能が集まる中心市街地・地域拠点の拠点性の維持により、まちの魅力が高まっている。</p> <p>(主な取組)三次の特徴である河川環境や交通の結節点を活用したまちなかのにぎわいづくりと多様な地域特性を活かした地域で暮らし続けられるまちづくりを推進する。</p> <p>②三次市都市計画マスタープラン(平成28年3月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活利便性が高く、安全・快適な居住環境のあるまちづくり</li> <li>水と緑、歴史と都市が調和する、文化の薫り高いまちづくり</li> <li>広域的な交流施設、集客施設などの高度な都市機能の重点的な配置を促進するとともに、まちなか居住の受け皿として、多様な住宅の誘導や、子育て、教育、医療福祉など、生活利便性の充実を図る</li> </ul> <p>③三次市立地適正化計画(令和6年12月策定)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活を支える商業、医療、福祉、子育て、教育などの生活サービス機能の誘導を図る</li> <li>広域的な交流施設、集客施設及び拠点的な医療・福祉機能を備えた施設などの高次都市機能の集積を図る</li> </ul>



計画区域の整備方針	方針に合致する主要な事業
<p>【子育てしやすいまちづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>施設一体型小学校・中学校を設置し教育環境の充実を図る</li> <li>学校教育と地域コミュニティの交流を図り、学校・家庭・地域が協働して地域で子どもを育てるまちづくりを進める</li> <li>魅力的な宅地の創出</li> </ul>	<p>【基幹事業】(誘導施設 教育文化施設)小学校                  【基幹事業】(誘導施設 教育文化施設)中学校                  【関連事業】 広島型ランドバンク事業</p>
<p>【安全で安心なまち】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>安全な通学路の整備</li> <li>歩行者の利便性の向上</li> </ul>	<p>【基幹事業】(道路)市道十日市24号線整備事業                  【関連事業】(道路)市道十日市堂山線                  【関連計画】 都市計画道路(三次駅前線)</p>
<p>【憩いを提供する河川空間の創出】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川を中心とした親水施設や観光拠点を整備し、地域の自然環境を楽しむ機会を提供し、住民が日常的に利用できる憩いの場を創出する</li> <li>イベント等を開催できる出店ブース及び広場を整備し、河川の景観を活かした魅力的なにぎわい拠点を創出する</li> </ul>	<p>【基幹事業】(公園)寺戸親水公園整備事業                  【基幹事業】(公園)旭町公園整備事業                  【基幹事業】(公園)(仮称)十日市キャンパーク整備事業                  【関連事業】 旧尾関山駅・祝橋周辺整備事業                  【協定制度等】巴峡三次かわまちづくり計画</p>
<p>その他</p>	
<p>【小中一貫校の防災】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>小中一貫校の計画地は浸水想定区域内であるため、垂直避難を前提とし浸水被害を想定した諸室・設備の配置計画とします。</li> <li>災害時には地域の避難所としての役割を担うことから、高齢者等多様な住民の利用を想定した施設とします。</li> </ul> <p>【巴峡三次かわまちづくり計画の概要】</p> <p>◆かわまちづくりのコンセプト</p> <p>三川が育む歴史・伝統・文化を活かした「観光おもてなし拠点づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>川を魅せる親水施設で新たな観光の拠点を創出</li> <li>「三次の鶺鴒」等、遊覧船を活かした観光の推進</li> <li>アクティビティ拠点づくりの推進</li> <li>川の風景を楽しめるキャンプ・BBQ エリアなどのアウトドア拠点の創出</li> </ul> <p>◆かわまちづくりの基本的な考え方</p> <p>三川合流部周辺を、本市における「観光おもてなし拠点」と位置づけ、三つの川が合流する河川景観・自然を活かした、キッチンカーやカフェなどの出店、キャンプ・BBQ等のアウトドア体験、「三次の鶺鴒」で使用する遊覧船の活用や鶺鴒の販売、十日市親水公園や尾関山周辺等における水上アクティビティ体験により、来訪者の滞在時間の延伸を図り三川合流部周辺のにぎわいを創出する。</p> <p>◆施策(例示)</p> <p>●ソフト施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光の拠点づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋台、キッチンカーの出店やグリーンスローモビリティの導入</li> </ul> </li> <li>②遊覧船を活かした観光の推進                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・観光遊覧船の周遊・川下りや鶺鴒の販売</li> </ul> </li> <li>③アクティビティ拠点づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヤックの導入やレールカート・レールマウンテンバイクの活用</li> </ul> </li> <li>④アウトドア拠点づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・デイキャンプやBBQの場の提供</li> </ul> </li> </ol> <p>●ハード施策</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①観光の拠点づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・屋台・キッチンカー等の出店ブースや広場及び駐車場等を整備</li> </ul> </li> <li>②遊覧船を活かした観光の推進とアクティビティ拠点づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・親水護岸や階段、管理用通路の整備</li> </ul> </li> <li>③アウトドアの拠点づくり                     <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプ等のサイトを整備</li> </ul> </li> </ol> <p>【その他官民協働の取り組み事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・三川合流部かわまちづくりワーキング(地域の事業者、三次観光推進機構、三次市、中国地方整備局三次河川国道事務所等が参加)で議論し、三次市かわまちづくり懇話会(三次市、地元自治会、商工会議所、漁協、河川管理者(国、広島県)等が参加)で了承を得たうえで、巴峡三次かわまちづくり計画の基本方針を定めた。</li> </ul>	

目標を達成するために必要な交付対象事業等に関する事項(都市構造再編集集中支援事業)

様式(1)-④-1

交付対象事業費	3,414	交付限度額	1,701	国費率	0.498
---------	-------	-------	-------	-----	-------

(金額の単位は百万円)

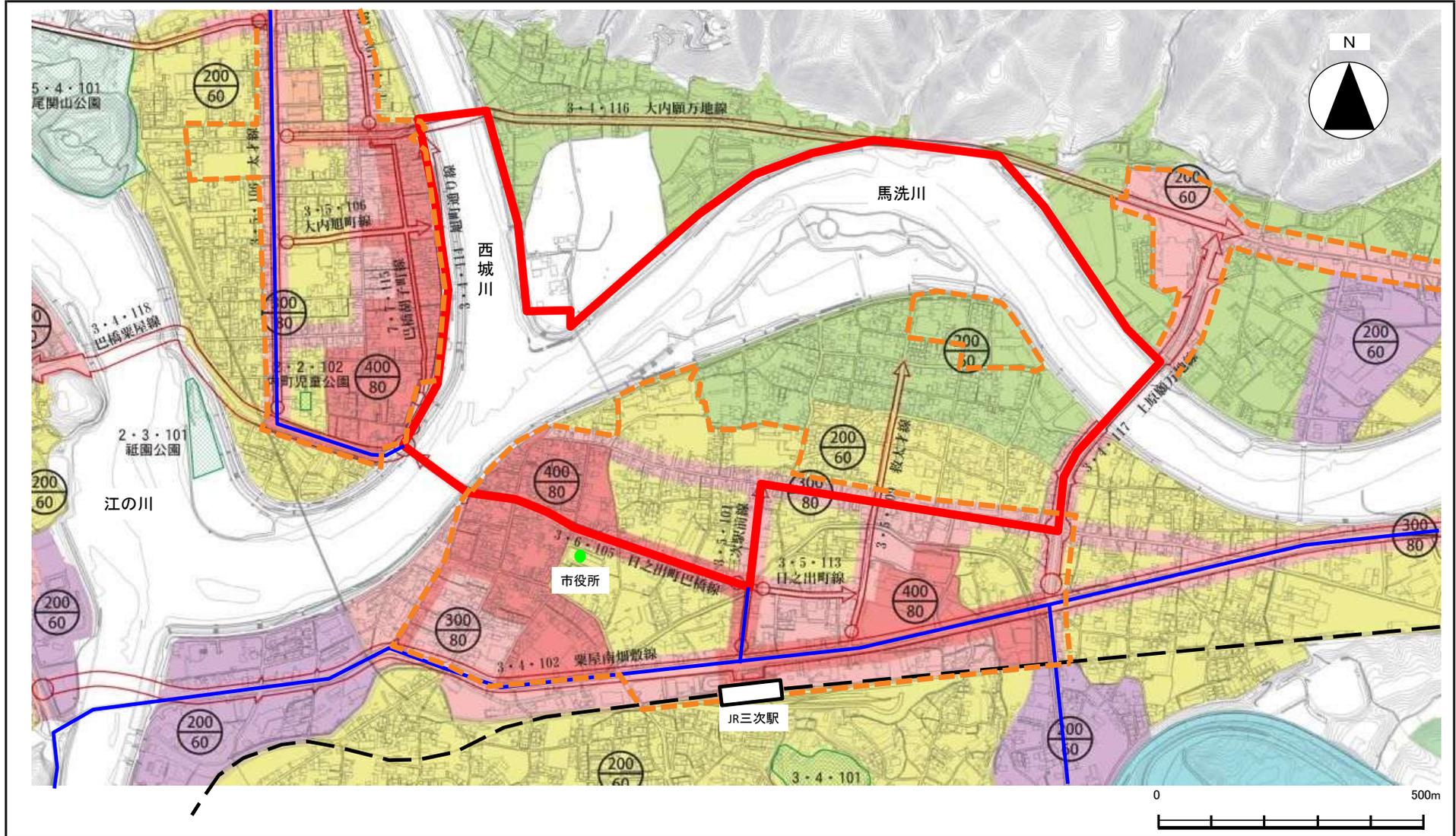
基幹事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		うち民負担分	交付対象事業費	費用便益比 B/C
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分			
	道路		市道十日市24号線	三次市	直	115m	R11	R12	R11	R12	32	32	32		32	-	
	公園		(仮称)十日市キャンプパーク	三次市	直	キャンプ場460㎡	R7	R11	R8	R9	53	53	53		53		
	公園		寺戸親水公園	三次市	直	キャンプ1470㎡、広場250㎡	R7	R11	R8	R11	50	50	50		50	-	
	公園		旭町公園	三次市	直	広場370㎡、駐車場500㎡	R7	R11	R8	R9	25	25	25		25	-	
	古都保存・緑地保全等事業																
	河川																
	下水道																
	駐車場有効利用システム																
	地域生活基盤施設																
	高質空間形成施設																
	高次都市施設	地域交流センター															
		観光交流センター															
		テレワーク拠点施設															
		賑わい・交流創出施設															
		賑わい・交流創出施設(地域資源活用型)															
		子育て世代活動支援センター															
		複合交通センター															
	誘導施設	医療施設															
		社会福祉施設															
		教育文化施設	小学校	三次市	直	5,785㎡	R7	R11	R8	R10	3,523	3,000	3,000		3,000	1.0	
		教育文化施設	中学校	三次市	直	4,560㎡	R7	R11	R8	R10	2,777	122	122		122	1.0	
		子育て支援施設															
		元地の管理の適正化	三次市立十日市中学校(除却)	三次市	直	4,325㎡	R7	R11	R10	R11	130	130	130		130		
	広域連携誘導施設																
	既存建造物活用事業																
	土地区画整理事業																
	市街地再開発事業																
	住宅街区整備事業																
	バリアフリー環境整備事業																
	優良建築物等整備事業																
	住宅市街地総合整備事業																
	街なみ環境整備事業																
	住宅地区改良事業等																
	都心共同住宅供給事業																
	公営住宅等整備																
	都市再生住宅等整備																
	防災街区整備事業																
	復興促進事業																
	エリア価値向上整備事業																
	こどもまんなかまちづくり事業																
	暑熱対策事業																
	合計										6,589	3,411	3,411	0	3,411		

提案事業	事業	細項目	事業箇所名	事業主体	直/間	規模	(参考)事業期間		交付期間内事業期間		(参考)全体事業費	交付期間内事業費	うち官負担分		うち民負担分	交付対象事業費
							開始年度	終了年度	開始年度	終了年度			うち官負担分	うち民負担分		
	地域創造支援事業															
	事業活用調査	施設整備を検討するための社会実験	旭町公園	三次市	直	2回	R7	R11	R8	R8	3	3	3		3	
	まちづくり活動推進事業															
	合計										3	3	3	0	3	



三次市十日市地区(広島県三次市)

面積	110 ha	区域	三次市十日市中3~4丁目、東2~3丁目の全部と十日市東1丁目、東5丁目、三次町の一部
----	--------	----	--



三次市十日市地区(広島県<sup>みよし</sup>三次市) 整備方針概要図(都市構造再編集集中支援事業)

目標	大目標: 人と想いがつながり、未来につながるまち	代表的な指標	地区の人口 (人)	2,614人 (R6年度)	→	2,550人 (R12年度)
	目標1: 子育てしやすいまちづくり		十日市親水公園周辺の利用客数 (人)	46,132人 (R6年度)	→	52,500人 (R12年度)
	目標2: 安全で安心なまち		自動車走行速度の減少 (%)	45.60% (R6年度)	→	25.00% (R12年度)
	目標3: 川を魅せる親水施設で新たなにぎわい拠点を創出					

